

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	3-6-10-1	
事務事業名 子宮頸がん検診事業				部等名	生活福祉部	
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	健康審査事業	課等名	保健福祉課
	一般	01-040101004	細々目名		係等名	健康づくり係
政策体系	基本目標	3	共に支えあうやさしいまちづくり			
	施策	6	予防医療対策の充実			
	基本事業名	10	子宮がん検診			

事業概要 実施内容	対象者からの申し込みにより集団・施設検診実施（細胞擦過採取） 検診対象者の把握 対象者からの検診申し込みをとる 申込者のカルテ印刷 非課税者の把握 チラシの作成 対象者への検診セット作成 対象者へ配布 検診会場の設営 検診の実施 結果通知事務 事後指導 支払い事務				
根拠法令等	健康増進法	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定（年度～年度）			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	4,801,951 円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	4,801,951 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象（誰を、何を）		20歳以上の女性	
手段（事業の具体的な内容、手順等）		活動指標名・式（アウトプット） 活動の大きさを表す指標	
検診対象者の把握 対象者からの検診申し込みをとる 申込者のカルテ印刷 非課税者の把握 チラシの作成 対象者への検診セット作成 対象者へ配布 検診会場の設営 検診の実施 結果通知事務 事後指導 支払い事務	指標 (1)	名称	集団検診日数
	指標 (2)	名称	施設検診機関数
意図（対象を、どのような状態にしたいのか）		成果指標名・式（アウトカム） 意図の達成度を表す指標	
若い女性の死亡原因1位をしめている疾患の早期発見を図る	指標 (1)	名称	受診数
	指標 (2)	名称	がん発見数
事務事業を実施（意図を実現）することで、施策にどのように貢献していますか 住民の誰もが、安心して健康に暮らせる街づくりに貢献			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	回			4	4	
	活動指標(2)	箇所			4	4	
	成果指標(1)	人			1,292		
	成果指標(2)	人			0	1	
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			4,802	3,425
	事業費計(A)	千円			4,802	3,425	
	人件費	職員数	人				
人件費平均額(年)		千円			8,373	8,373	
	人件費計(B)	千円			0	0	
	総事業費(A+B)	千円			4,802	3,425	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

<p>、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？</p> <p>20代30代女性の受診数が増えない。この年代の死亡原因の1位を占めている。平成18年度より子宮がん検診は隔年でよいとの国の指針がだされた。</p> <p>この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？</p> <p>毎年の受診したいという希望がある。</p>
--

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
健康の保持増進を図るために疾病の早期発見早期治療を推進するために20代から健康診査を受ける習慣をつくる。	健康増進法	20代から対象にすべき現状にある。(国の指針)
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
健康診査受診の機会を増やす(個別健診の充実)	健康増進法により充実強化を図る必要あり	類似事業はない。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
見積もりを取りながら実施中。	事務の効率を図り実施中	健診の機会を平等に提供し、低所得者に配慮している。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	20代30代の受診数が少ない。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
20~30代の受診者を増加させるために検診のPRに力をいれる。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
検診時に託児コーナーを設け受診しやすい場の設定を図る。未受診者に対する働きかけの実施。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						